

# 「時代は健康と省エネ」

## 無暖冷房住宅研究会が例会

北海道無暖冷房住宅研究会（繪内正道会長）は11月25日、札幌市内で11月例会を開催した。

繪内会長は「今年は大



繪内会長

規模イベントに出展するなど例年に比べ会の存在感を大きくアピールできた」と挨拶。会員に向けた「高気密・高断熱の意

味を再確認するとともに、住宅性能検査を行いユーザーに安心感を与えることを考えてほしい」と呼びかけた。

例会では、大洋建設（札幌市）の鏡原勲社長が

「今、売れる家」と題し講演。鏡原社長は自身の経験からユーザーの行動を6段階に分類していると話し、「今の時代のトレンドは健康と省エネ。ユーザーのニーズを掘り起こし、提案を行う共感営業を重視して住宅ができるまでのストーリーを提供するべき」と強調した。このほか、タギ建築環境コンサルタント（同）のS・M・タギ氏が「2016年住宅性能調査報告」、サンエコホーム（同）の小室雄次社長が「太陽光の光で稼ぐ家づくり」と題し講演した。